

執筆者紹介（執筆順／＊は編著者）

*中富公一（なかとみ・こういち）

広島修道大学法学部教授

〔業績〕『自信をもっていじめにNOと言うための本——憲法から考える』（日本評論社，2015年），ほか共著，論文多数

担当：はじめに，第1部第1～4章，第3部第3・4・13章，コラム①・⑤，おわりに，巻末資料

宍戸圭介（ししど・けいすけ）

岡山商科大学法学部教授（法学博士）

〔業績〕「第8章 医療における人権を知ろう」古橋エツ子監修，和田幸司編著『人権論の教科書』（ミネルヴァ書房，2021年）146頁以下／分担執筆

担当：第2部第1・2章，第3部1・2章，コラム④

萩原聡央（はぎはら・あきひさ）

名古屋経済大学法学部教授

〔業績〕「第15章 警察と地域の安全」白藤博行・榊原秀訓・徳田博人・本多滝夫編著『地方自治法と住民——判例と政策』（法律文化社，2020年）204頁以下／分担執筆

担当：第2部第3～5章，第3部第11章，コラム②

矢吹香月（やぶき・かつき）

岡山県消費生活センター消費者教育コーディネーター・消費生活専門相談員

岡山大学，倉敷市立短期大学，倉敷芸術科学大学非常勤講師（法学博士）

〔業績〕「消費者の権利の憲法による定礎を目指して」『岡山大学法学会雑誌』68巻3・4号（2019年）598頁以下

担当：第2部第6章，第3部第6・9・10章，コラム③

俣野英二（またの・えいじ）

岡山大学大学院社会文化研究科客員研究員（法学博士）

就実大学，くらしき作陽大学，美作大学，山陽学園大学，中国学園大学非常勤講師

〔業績〕「学校による指導監督の憲法的裁量統制の法理——インターネットいじめに関するアメリカ判例の分析から」岡山大学博士（法学）学位論文（2018年3月）

担当：第3部5・7・8・12章，コラム⑥